

令和5年度の森林環境譲与税の使途について

大月町産業振興課

1 森林環境譲与税の活用の効果

- (1) 森林経営意向調査の実施
- ・会計年度任用職員1名を雇用し、森林経営意向調査を実施した。返信のなかった森林所有者に対しては再度の通知を行い、返信を促した。返信内容の集計結果は、森林環境譲与税を活用し導入した独自システムへ蓄積し、見える化することにより今後の森林経営管理制度事業の実施へと繋げていく。
- (2) ウバメガシモデル林の造成
- ・大月町有林へウバメガシのモデル林を造成した。ウバメガシは町木にも指定され、備長炭の原木となり町内へ広く自生しているが、生育地の多くは海岸近くで、崖等地形の制限や国立公園など法規制があり伐採が可能な箇所は限られている。また県東部との競合により原木の枯渇が懸念されており、原木供給体制が急務となっている。継続的にウバメガシの安定供給を行うための資源の確保拡大、ウバメガシ再造林の施業技術の確立を図る。

2 森林環境譲与税の使途の内容

(1) 歳入 単位：千円

区分	金額
森林環境譲与税	12,520
計	12,520

(2) 歳出（使途内訳） 単位：千円

事業名	事業費			事業内容	事業実績
	総額	財源内訳			
		R5森林環境 譲与税	他の財源		
森林経営管理制度事業	5,277	5,187	90	R1.2年度に導入した森林情報システムを活用し、会計年度任用職員1名を配置して、森林経営意向調査を実施	周防形地区：15名17筆 6.4ha 赤泊地区：24名43筆 12.2ha 2区計：39名50筆18.6haの意向調査を実施 昨年度の意向調査結果をもとに、林況調査も実施
ウバメガシ再造林事業	1,157	1,157	0	備長炭の原木となるウバメガシの施業技術の確立を目的としたウバメガシモデル林の管理	育苗施設の整備 西串山 植栽・作業道補修 トギ山 下刈作業
幡多地域森づくり推進センター負担金	581	542	39	森林経営管理制度における業務の効率化や負担軽減を図るため、市町村業務の共同処理を行える幡多広域組織を新設	
林業研修支援事業	1,200	600	600	地域の森林施業を担う林業事業者等への就業の促進と林業に新たに従事する担い手の育成及び確保を図るため、研修生及び研修受入林業事業者に対し、必要経費を支援	林業研修生1名を受入
自伐型林業支援事業	100	100	0	小面積でも山仕事を続ける中小規模森林所有者の育成及び確保を図るため、林業に関する学習会の実施、視察等の取り組みを支援	作業道実地研修の実施
スマート林業支援事業	332	332	0	森林経営管理制度の円滑な運用及び森林の集約化に必要な機器等の導入を行う林業事業者に対し、導入費用を支援	
木育玩具購入事業	79	79	0	木育玩具の購入費用を支援	木育事業の一環として、一歳児に対し、高知県産木材を使用した木製の玩具等を配布。
基金積立（森林環境整備基金）	4,523	4,523		次年度以降の森林経営管理制度関連事業に必要な財源として基金への積み立て	
計	13,249	12,520	729		